

本郷台駅周辺地区の現状

課題

1. 広大な駅前広場と駅前公園

- 本郷台駅の一日の乗降客数は約 19,000 人。
 - 駅前広場と駅前公園を合わせた、オープンスペースは約 1 ha と広大。
- ◎駅前広場と駅前公園の賑わいをつくるソフト
 - ◎人々がたたずみ、交わることができるハード整備
 - ◎駅前広場と駅前公園が一体利用できるしつらえ

2. 未熟な交通アクセス

- 本郷台駅へ向かう交通手段は、「徒歩（76％）」と「自転車（13％）」が主で、「バス（6％）」や「自家用車（4％）」は少ない。
- ◎道路整備（上郷公田線）による駅へのアクセス改善
 - ◎本郷台駅へ向かう公共交通の充足
 - ◎道路は歩行者や自転車の利用者も安全で快適な歩行と走行ができる空間への改良

3. 駅周辺への都市機能の集積

- 駅周辺には生活必需品を主とする住宅地型の商業集積があり、近年は個性のある飲食店も出店。
- ◎自然環境に囲まれ、多様な生活文化が行き交う本郷台駅周辺地区らしい魅力づくり
 - ◎売却予定の国有地の計画的な開発誘導
 - ◎人々がたたずみ、交わることができるハード整備

4. 超高齢の昼間人口を活かした生活環境の充足

- 高齢化が進むが、元気で積極的なシニアが多い。
- ◎身近なコミュニティに支えられ、誰もが居心地が良く、交流のある空間形成
 - ◎国有地の売却と駅近の利便性を活かし、多様な生活のサポートを増進

5. 豊かな水と緑

- 駅前広場や街路、公園に高木等の緑が多く、いたち川が近くを流れるが、川と緑の有機的な連担が不足している。
- ◎駅前広場からいたち川遊歩道へ至り、郊外部へと広がる自然環境軸の形成と再生
 - ◎身近な緑の維持管理体制の構築

6. 本郷台駅周辺地区への期待

- 公共的施設集積といたち川の豊かな自然が魅力。
- ◎買物やカフェ環境の充足
 - ◎安全・安心な道路交通環境の整備
 - ◎交通結節点の機能強化

経過と今後のスケジュール

平成 26 年 まちづくり懇談会
平成 27 年 5 月まちづくり構想策定
駅前広場・駅前公園一体整備
平成 28 年 栄区制 30 周年
地区計画策定
国有地売却
平成 32 年 横浜環状南線・上郷公田線開通

栄区の幹線道路と地域道路



お問い合わせ先

横浜市栄区 区政推進課 企画調整係

平成 27 年 5 月発行

〒247-0005 横浜市栄区桂町 3 0 3 番地の 19

電話：045-894-8095 FAX:045-894-9127 E-mail:sa-kikaku@city.yokohama.jp



本郷台駅前は栄区の「顔」です。本郷台駅の改札口を出ると、広々とした駅前広場、U R 団地など自然と建ち並ぶ住宅群、けやきや銀杏並木が目に入ってきます。決して華やかではありませんが、どこか落ち着いた雰囲気があります。

また、近年、少子高齢化や人口減少などのまちの変化とともに、駅周辺の状況も変化しています。

そこで、いたち川沿いの国有地（南小菅ヶ谷住宅）の開発動向などの機会をとらえ、本郷台駅周辺地区の将来像を思い描き、区民の皆様とともに考え、「本郷台駅周辺地区まちづくり構想」を策定しました。

この「構想」は本郷台駅周辺地区のまちづくりのスタートラインです。これから始まる本郷台駅周辺のまちづくり、ともに歩んでいきましょう。

※写真は本郷台駅前で実施されているイベントの一例です。

「本郷台駅周辺地区まちづくり構想」の概要は裏面へ



本郷台駅周辺地区の全体目標像

多くの人が「賑わい」の中、
「水と緑の豊かさ」と「人との触れ合い、
やさしさ」を感じることができるまち。
そして「アクセス性の強化」により、
郊外部からも人が集まり、
「魅力ある空間と交流の場づくり」により、
人々が時にワクワクと
時に穏やかにたたずめるようなまちを
目指します。

5つの具体目標

区民が主役のまちづくり

本構想を実現するために、区民、地域、民間、行政等の多様な主体が目標を共有しながら、連携協働の輪を広げましょう。

郊外の生活を支えるまち

鉄道駅としてだけでなく、買物や文化的活動の不足などの課題を抱える郊外部の日常生活も支える生活拠点としての役割も担います。

水と緑と人がたたずむまち

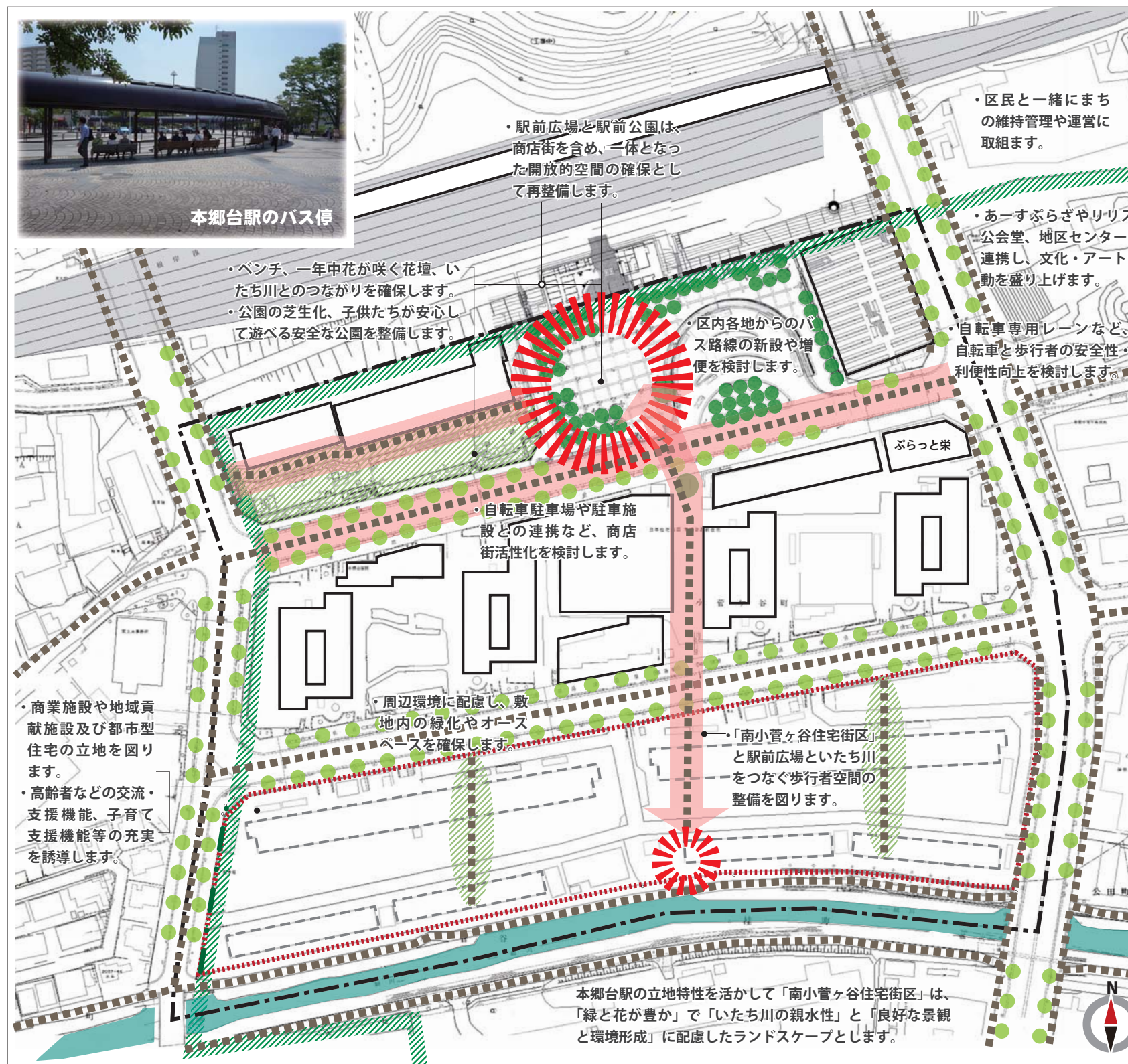
高木の豊かな緑と四季折々の花がいっぱいの広いオープンスペースで、開放的にくつろぎながら、いたち川の自然を感じます。

福祉と文化とアートが香るまち

高齢者や障害者、子供も積極的に出歩けるよう相互の見守りや文化やアート活動が日常的に繰り広げられ、まちをフィールドキャンパスに仕立てあげます。

賑わいのあるまち

いつでもイベントやオープンカフェなどに人が集うことができるしかけをつくります。



本郷台駅周辺地区 まちづくりの方針図

- 本郷台駅周辺地区（検討範囲）
地勢的なまとまりがあり、栄区の中心部として一体的かつ総合的な視点でのまちづくりの誘導を図るゾーン
- 地区のシンボリックな広場の風格や緊急時の拠点としての機能を装備
- 歩行者と自転車の動線スケールに合わせた快適性を優先する通り
- 賑わいや人が滞留できるしつらえに配慮する通り
- 通りに開いた花と緑のオープンスペース
- 並木や高木の健全な育成
- 南小菅ヶ谷住宅街区
- 広域避難場所



いたち川

目標を達成するための具体的な方針

方針1：駅前広場と駅前公園の再生

人が憩い、たたずむ場として、駅前広場と駅前公園を一体的な開放空間として再整備します。
ベンチ等のストリートファニチャーの配置や一年中花が咲く花壇やフラワーバスケットなどで花いっぱいの空間を創出します。

方針2：国有地の活用

南小菅ヶ谷住宅（国有地）がいたち川に面し、UR団地と一体的な地域貢献が期待されていることを踏まえ、地区計画制度を適用し、計画的な開発を誘導します。また、地域ケアプラザ等の高齢者交流・支援機能や区民の交流機能、子育て支援機能の導入を検討します。

方針3：アクセス改善

区内各地から本郷台駅へバスでアクセスできるよう検討します。特に上郷公田線を活用したバスルートを早期導入できるよう調整します。
また、買物客の短時間利用など、多様なニーズに対応した駐輪場のあり方を検討します。

方針4：まちの運営

新旧のコミュニティが調和し、まちの維持・管理等を通して「ふるさと本郷台」への愛着や誇りを育みます。
まちの発展や商店街の活性化につながるようなイベントを民間のノウハウを活かして開催します。また、文化・アート活動も盛り上げます。